

みなさん、こんにちは。中間市長の福田健次です。新聞やテレビ等の報道でご存じの方も多いかと思いますが、先日9月10日、中間市はソフトバンク株式会社 CSR 本部と未来のまちづくりに向けた事業連携協定を締結いたしました。

ソフトバンク社が社会貢献活動として連携協定を締結している自治体は全国に47あり、中間市が48番目、九州では3番目、福岡県内では2番目の自治体となります。

社会におけるデジタル化の動きは目覚ましいものがありますが、地方自治体におけるICT化は思うように進んでおらず中間市も例外ではありません。

そうした中でソフトバンク社が持つICTのノウハウ活用により市民サービスを向上させ、中間市が抱えるさまざまな地域課題の解決を目指すことが連携協定の目的です。

具体的な取り組みとしては、本年度より必須科目となりましたプログラミング教育の支援として、ヒト型ロボット Pepper の小学校への導入を行い、将来ある中間市の小学生に最新ロボットに触れる機会を作って参ります。

さらに安全安心なまちづくりとして、市役所屋上に雨量監視システム EQROS(エクロス)を5月に設置しており、中間市におけるリアルタイムの雨量が市民の皆さまにお分かりいただけることとなっておりますが、そのデータを蓄積することで災害時の避難の目安やノウハウを構築し、防災減災施策に役立てて参ります。

他にも中間市の活性化へにつながる様々な取り組みを考えておりますので、決定次第随時皆様方にお伝えして参ります。

未来のまちづくりへ向け大きくはばたく今後の中間市にご期待ください。

令和2年9月18日

中間市長 福田 健次